

実習内容  
ならびに  
スケジュール

## 脳神経外科

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	カンファレンス、オリエンテーション 手術見学	阿部	7:45	1号館10階医局
	昼食 手術見学または症例検討	白川	13:00	1号館10階医局
火	カンファレンス、回診 顕微鏡による血管吻合または脳血管障害の講義	阪本	8:00	1号館10階医局
	昼食 症例検討（脊椎外科）	立林	13:00	1号館10階医局
水	カンファレンス 手術見学または症例検討	飯田	8:00	1号館10階医局
	昼食 症例検討	瀬尾	13:00	1号館10階医局
木	カンファレンス、回診 手術見学または症例検討	山田	8:00	1号館10階医局
	昼食 症例検討（機能神経外科）	蔵本	13:00	1号館10階医局
金	カンファレンス まとめ	内田	8:00	1号館10階医局
	昼食 まとめ	吉村	13:00	1号館10階医局

◎ 診療科名： 脳神経外科

◎ 責任者氏名： 吉村 紳一 主任教授

◎ 指導教員氏名： 山田 清文 講師

◎ 実習概要

1.カンファランス、2.教授回診、3.病棟実習、4.クルズス、5.模擬実習（顕微鏡を用いた血管縫合）、6.手術見学、7.その他各種検査・処置・治療の見学などを行い、脳神経外科領域において的確な診断と治療方針の立案を目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・脳神経外科領域における主要疾患についてアセスメントができる。
- ・脳神経外科領域の患者の神経学的所見がとれる。
- ・治療計画を立てることができる。
- ・患者の立場に立った対応ができる。
- ・手術室における所作、清潔・不潔が身についている。
- ・英語を用いたケースプレゼンテーションができる。

◎ 準備学習ならびに事後学習に要する時間

- ・3年次の講義資料の主要疾患について復習すること（1日）
- ・脳神経外科教科書の主要疾患について読んでおくこと（3時間）
- ・脳、脊髄の解剖・生理につき復習しておくこと（3時間）

## ◎ 評価方法

知識、態度（積極性）、コミュニケーション、プレゼンテーション技術（構成、スライドの見やすさ、伝え方など）について評価。

評価基準をループリックで明示。

### 【知識★】

点数	基準
5	代表的疾患について治療計画を説明できる。 診断に必要な画像を選択、説明できる。
4	代表的疾患についてアセスメントができる。 示された画像につき説明できる。
3	代表的疾患について概略を説明できる。 疾患ごとの画像を理解している。
2	一部の疾患について理解している。 一部の疾患画像診断ができる。
1	ほとんどの疾患について理解できていない。 疾患画像診断ができない。

### 【態度（積極性）★】

点数	基準
5	実習の意義を理解し、積極的に参加する。
4	積極的で質問もよくする。
3	ノルマはこなしているが、やや消極的。
2	消極的で質問がない。
1	態度が社会人として不適切で周囲を不快にさせる。

### 【コミュニケーション★】

点数	基準
5	周囲の人に配慮した、キメ細かいコミュニケーションが取れる。
4	教職員や患者さんと普通にコミュニケーションが取れる。
3	ある程度の人にコミュニケーションが取れる。
2	教職員や患者さんへのコミュニケーションが円滑にできない。
1	コミュニケーションが全くとれない。

## 【プレゼンテーション技術（構成、スライドの見やすさ、伝え方など）】

点数	基準
5	担当症例を英語で正確なプレゼンテーションができる。 （英語の上手さは問わない。）
4	担当症例を英語で理解できるプレゼンテーションができる。 （英語の上手さは問わない。）
3	担当症例を英語である程度理解できるプレゼンテーションができる。 （英語の上手さは問わない。）
2	担当症例を英語でプレゼンテーションするが、理解内容は半分程度である。 （英語の上手さは問わない。）
1	担当症例を英語でプレゼンテーションするが、理解内容は半分以下である。 （英語の上手さは問わない。）

### ◎ 中間評価とフィードバック

実施しない。

### ◎ 注意事項

- ・初日は7時45分に脳神経外科医局（1号館10階）に集合すること。
- ・必ず教科書を持参すること
- ・毎朝8時00分からのカンファレンスに出席すること。
- ・ハッピーマンデーの開院日（敬老の日と成人の日）は休日とする。